

平成28年度事業報告

1. 広報普及（企画部会）

- (1) 機関誌「精神保健福祉とやま」の発行
- (2) 「こころの図書館」の運営 蔵書数：2,362冊（寄贈含む） ビデオ、DVD：140本
- (3) こころの健康フェスティバル・平成28年度富山県精神保健福祉大会
平成28年11月9日 富山県民会館
DVD「私の統合失調症を語ろう」上映
記念式典
基調講演 「にんげんだもの～父 相田みつをの書と言葉～」
相田 一人 氏（相田みつを美術館 館長）
- (4) メンタルヘルス講座
平成28年11月24日 富山県総合情報センター セミナー室
「職場のメンタルヘルス」～ストレス対処力を身に付け、職場の健康度をアップさせるには～
大井 雄一 先生（筑波大学産業精神医学・宇宙グループ助教）
- (5) 子どものこころの健康セミナー
平成29年3月10日 富山県総合情報センター 大研修室
「ひきこもりの理解と支援—認知行動療法を用いた家族支援—」
境 泉洋 先生（徳島大学大学院 総合科学研究部 准教授）
- (6) うつ病等の啓発HPに係る管理業務
うつ病等の啓発HP「うつ安心とやま」を管理運営した。
- (7) 関係団体主催の研修会等への共催、後援協力

2. 精神医療保健（医療部会）

- (1) 精神障害者レクリエーション大会
平成28年10月12日 富山県総合体育センター 参加者総数 214人
- (2) 依存症問題研修会の開催（赤い羽根共同募金助成事業）
平成28年10月27日 富山県情報センター セミナー室
講演「女性のアルコール依存症」
講義「動機付け面接法について」
岩原 千絵 先生（独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター医師）
- (3) 精神科チーム医療研修会
平成29年2月24日 富山県民会館 301号室
「急性期におけるNew Long Stay予防と各職種の役割」
杉山 直也 先生（公益財団法人復康会 沼津中央病院 院長）
「退院支援委員会について～退院に結びつく機能的な委員会をめざして～」
澤野 文彦 氏（公益財団法人復康会 沼津中央病院 精神保健福祉士）
- (4) 精神障害者地域相談員養成研修会（全3回）
第1回 平成28年7月25日 第2回 平成28年10月17日 第3回 平成28年12月12日
講義①「障がいと理由とする差別の解消の推進に向けて」
岡田 千秋 氏（富山県厚生部障害福祉課 相談室 広域専門相談員）
講義②「精神障害者への対応について」
朝井 佐和子 氏（社会福祉法人富山県精神保健福祉協会ゆりの木の里 副統括施設長
精神保健福祉士）
体験発表 ピア・フレンズ（各回2名）

3. 地域精神保健福祉（地域部会）

県内の地域精神保健（福祉）推進協議会等が行う講演会、研修会等、普及啓発活動事業に対し、支援協力した。

4. 関係団体の組織育成支援と協力

5. 精神障害者社会復帰施設「ゆりの木の里」への支援協力（最終年度）

6. 財源確保への協力について

上記のとおり事業を実施できたのは、精神保健福祉に理解のある会員の皆さんの会費納入のご協力によるものである。とくに日本精神科病院協会富山県支部の20民間病院の多額の会費納入が、「ゆりの木の里」への支援をはじめ、各種事業実施の大きな支えとなっている。

平成29年度事業計画

I 精神保健福祉に関する普及啓発や精神障害者の自立と社会参加の推進など、県民の精神的健康の保持及び向上に寄与する事業を行う。

1. 普及啓発事業
2. 研修会事業
3. 相談事業
4. 地域精神保健福祉活動事業
5. 自立・社会参加促進事業

II 部会の構成

1. 企画部会
2. 医療部会
3. 地域部会

III 関係機関との連携

富山県心の健康センター、富山県精神科病院協会、富山県精神科医会等、関係機関との連携を密にして、研修事業等を進める。

IV 事業の内容

1. 企画部会

- (1) 機関誌等の発行
- (2) 「こころの図書館」の運営
- (3) こころの健康フェスティバル・富山県精神保健福祉大会の開催
- (4) 教育、産業関係者等への研修会の開催
- (5) 関係団体主催の研修会等へ共催、後援等協力
- (6) うつ病等の啓発HPに係る管理業務
- (7) 心の健康出前講座の開催

2. 医療部会

- (1) 精神障害者レクリエーション大会の開催
- (2) 依存症関連問題研修会の開催
- (3) 精神科チーム医療研修会の開催

3. 地域部会

各厚生センター・支所、保健所管内地域精神保健福祉推進協議会等への支援、協力

4. 関係団体の組織育成支援と協力

- (1) 富山県精神保健福祉家族連合会への支援助成
- (2) 関係団体の組織育成・協力の強化

5. 会員の協力と新規加入の推進

- (1) 現会員の継続
- (2) 精神科診療所（クリニック）の会員枠の拡大
- (3) 一般県民、関係者へのPR

機関誌

精神保健福祉とやま 発行部数 1,000部